

第5学年外国語科学習指導案

令和5年10月26日(木)

第5校時 13時55分～14時40分

5年1組 25名

指導者 HRT 三浦 尚之

ALT Aaron Jones

- 1 単元名 Aidan 先生が行きたい場所へ道案内をしよう
(*Junior Sunshine 5 Lesson5 Where is your treasure?*)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、方向や動きを指示する表現を使って、道案内することを題材としている。地域にある建物や施設を案内するために、それらの英語表現に慣れ親しんだり、目的地の情報や行き方を聞いたり話したりする活動は、児童にとって身近な話題に基づくコミュニケーションの場面となる。このように、行きたい場所をたずねたり案内したりする活動を行う場合には、自分の考えを伝えるため、相手との積極的なコミュニケーションが必要となってくる。また、相手が行きたい場所へ案内するために正しく伝えて理解してもらうために、伝える内容の確認・繰り返し・強調・会話のスピードなど、相手意識をもって会話を行う必要がある。さらに、自分の説明によって、相手を道案内することができたと達成感を感じることができることから、コミュニケーションの楽しさを味わえる単元でもある。

(2) 児童について

児童は、これまでに、友だちの誕生日をたずねたり、興味のある職業に就くための時間割を作成したりするといった学習を行い、意欲的に取り組んでいる。とても仲がよく、誰に対しても分け隔てなく接する姿が見られる。特に、困っている人に対して親身になって関わる様子が見られる。令和5年度の大分県学力定着状況調査の質問紙において、「英語の勉強は好きですか?」という質問に対して肯定的な回答をしたのは、県平均が64.8%であったのに対し、本学級は72.0%であった。

一方で、本校が実施した英検 ESG 4 技能版において、「聞くこと」「書くこと」の成績は年々上昇傾向にあるが、「話すこと」のポイントが昨年度の228ポイントから222ポイントと下がっている実態がある。外国語の授業における児童同士のコミュニケーションを見ると、相手を見て話したり、うなずいたり、積極的に英語で返したりするなど、自信をもって話すことができない児童の姿も見られる。単元のゴールに向かって児童が見通しをもち、繰り返し言語活動に取り組むことを通して、自信をもってコミュニケーションを行うことができるよう工夫することが必要である。

(3) 指導について

指導に当たっては、新しく日本で生活を始めたばかりの Aidan 先生に、杵築市のことを知ってもらおうという提案から始める。児童は、Aidan 先生の紹介を聞いたり、どんなことが好きなのか質問したりしながら、Aidan 先生が行きたい場所を考える。このような場面設定を通して、「新しく来た ALT の先生に杵築市のことを教えたい」という児童の気持ちを大切に、学習意欲を喚起したい。

次に、生活する中でよく利用する建物の英語での表し方に関する学習を通して、日本語と英語の発音の違いに気付かせる。身近に実在する建物を扱うことで、児童の興味関心を高め、意欲的に学習に取り組むことが期待できる。また、実際に具体物を動かしながら位置関係を確認する活動を友だちと繰り返し行ったり、教室を町に見立て、ある場所から指定の場所までの道案内をしたりしながら、道案内を行うための英語表現に慣れ親しませていく。Aidan 先生に杵築市のことを紹介するためのステップとして、友だち同士で繰り返し道案内を行うことを通して、自信をもって話すことができるようにしていきたい。

単元の最後に、Aidan 先生に杵築市のことをもっと知りたいと思ってもらうことを目的として、簡略化した杵

築市の地図を使いながら、校区内にある建物について案内する活動を行う。自分が伝えたいことがしっかりと伝わるための工夫や、相手を意識した聞き方を意識しなければしっかりと情報を共有できないという場面を設定することで、より相手を意識する態度の育成にもつなげたい。

3 単元の目標

新しく日本で生活をはじめた Aidan 先生に杵築市のことをよく知ってもらうために、生活をする中でよく利用する建物や知っていると便利な施設、建物や施設への行き方について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4 関連する学習指導要領における領域別目標

話すこと [発表]	ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。
--------------	---

5 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
話すこと [発表]	<p><知識> 建物や施設の名前、Where is ~? Go straight. Turn [right / left]. You can see it on your [right / left]. など、道案内をするための表現について理解している。</p> <p><技能> 建物や施設の名前、Where is ~? Go straight. Turn [right / left]. You can see it on your [right / left]. など道案内をするための表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話す技能を身に付けている。</p>	Aidan 先生が杵築市のことをもっと知りたいと思えるように、生活をする中でよく利用する建物や知っていると便利な施設、建物や施設への行き方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話している。	Aidan 先生が杵築市のことをもっと知りたいと思えるように、生活をする中でよく利用する建物や知っていると便利な施設、建物や施設への行き方について、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを含めて話そうとしている。

6 指導と評価の計画（全6時間）

○：指導に生かす評価 ◎記録に残す評価

時	目標と主な活動	評価		
		知	思	主
1	単元のゴールをつかみ学習の見通しを持つ。			
	○Aidan 先生が新しく杵築の ALT になったことを紹介し、「Aidan 先生が知りたい場所へ道案内をしよう」という単元のゴールを設定するとともに、教師モデルを聞いて学習の見通しをもつ。 ○建物や施設の言い方について知る。	○		
2	建物や施設の言い方に慣れ親しむ。			
	○杵築市の中でよく利用する建物や知っていると便利な施設の表し方を知る。	○		
3	杵築市ミニマップを使って、尋ねたり答えたりして、道案内の表現に慣れ親しむ。			
	○教科書のマップを使って、道案内の表現に慣れ親しむ。 ○杵築市のミニマップを使って、道案内の表現に慣れ親しむ。	◎		

4	自分が教えたい場所を決め、その場所まで道案内することができる。			
	○道をたずねたり答えたりする活動を通して、自分が教えたい場所へ案内するための表現を考える。	○		道案内のやりとりについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、たずねたり答えたりしている。〈行動観察〉
5	Aidan 先生を案内する場所について、自分の考えや気持ちが伝わる表現を考えることができる。			
	○自分が教えたい場所でできることを友だちと考えたり、伝え合ったりする活動を通して、その場所でできることを考え、道案内の文を考える。 ○相手に伝わる文になっているか友だちと交流する。		○	教えたいことが伝わる文になるように、自分の考えや気持ちを表すための適切な表現を考えている。〈行動観察・ワークシート記述分析〉
6	Aidan 先生に杵築市をよく知ってもらうために、建物や施設を道案内できる。			
	○Aidan 先生に聞かれた場所の道案内を発表する。		◎ ◎	Aidan 先生が知りたい場所を自分の考えを加えて、道案内をしている。〈行動観察、iPad 録音〉

単元末の言語活動において期待する児童の姿

ALT: I want to eat lunch.

ALT: Where is the restaurant?

S: Go straight. / Turn left(right).

S: You can see it on your left(right).

S: You can eat (a delicious) lunch.

7 本時の指導 (5/6)

(1) 題目

道案内、建物や施設でできること

(2) 本時のねらい

Aidan 先生を案内する場所について、そこでできることなど Aidan 先生が行きたくなるような表現を考えたり、考えた表現が伝わるかを友だちと確認しながら交流したりする活動を通して、自分の考えや気持ちが伝わる表現を考えることができるようにする。

(3) 展開

学習活動	時	指導上の留意点		評価規準
		HRT (三浦)	ALT (Aaron)	
1 warm-up 挨拶とめあての確認をする。	5	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体への挨拶 ○ 教師モデルとして別府市での教えたい場所を例に Small Talk をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 会話の内容を児童に確認する。 ○ 単元のゴール (All's Goal) を確認した上で、本時のめあて (Today's Goal) を提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体への挨拶 ○ 別府市について、HRT と Small Talk をする。 	
Today's Goal Aidan 先生が行きたくなるような表現を考えよう				
2 Activity ① 表現を考える。	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が選んだ場所でできることを考えさせる。 <ul style="list-style-type: none"> ・ "You can ~ ." の後に続く内容を考えるよう促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ わからない単語がある場合は、既習の語や表現を思い出させたり、例を挙げ 	

<p>3 Activity ② ペアで道案内をする。</p>	<p>10</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ スモールトークで今まで練習してきた表現内容の違いに気付かせる。 ・ 適宜、使えそうな言葉リスト（教室掲示）を振り返らせる。 ・ わからない単語や表現しにくいものがある場合には、ALTに質問したり、別の言葉で表現できないかを考えさせたりする。 	<p>たりする。</p>	<p>◎教えたことが伝わる文になるように、自分の考えや気持ちを表すための適切な表現を考えている。 (思・判・表)</p>
<p>4 Activity ③ 友だちに道案内をする。</p>	<p>10</p>	<p>10</p> <p>○ 中間指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「Aidan先生が行きたくなるような表現をしよう」と児童に投げかけ、ねらいにそった児童の表現を紹介する。 ・ 困ったことや付け加えたい言葉がないかを確認する。 <p>○ 十分な練習時間を与え、自信をもってペアに伝えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 発表を聞く側は英語を使ってレスポンスを返させる。 	<p>○児童に質問して表現を広げたり、児童の自信につながるような声掛けを行ったりする。</p>	
<p>5 Looking back 振り返りをする。</p>	<p>5</p>	<p>5</p> <p>○ 考えた文を友だちと伝え合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自由交流の時間をとり、ALTやいろんな友だちと交流させる。 <p>○ 次時につなげる声かけをし、発表活動に意欲をもたせる。</p> <p>○ 今日の授業の振り返りをする。</p>	<p>○児童に質問して表現を広げたり、児童の自信につながるような声掛けを行ったりする。</p>	
		<p>(期待される児童の振り返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 今日できた文をALTの先生にしっかりと発表して、自分の気持ちを伝えたい。 ・ ○○さんのような文にすれば、もっと気持ちが伝わるかもしれないから、もう少し考えてみたい。 		<p>・ 振り返りシート</p>